

リトル・サイエンティストでは、クリーブパーマに必要なものは

「ポリフェノールによる収れん」

と考えています。

クリーブ期に形成したウェーブをより安定した状態でS-S再結合させる、つまり、仕上がりのウェーブを安定させるために大変重要なプロセスです。

それが独自のクリーブパーマ

リトル・サイエンティストの “neo収れんクリーブ”

カールができにくい細毛や軟毛でも。

乾かすとすぐだれてしまうような髪にも。

ぷるもちの柔らかいカールが作れる。

その理由が、“neo収れんクリーブ” にあります。

これでパーマが、楽しくなる!



ソニルクリーブS

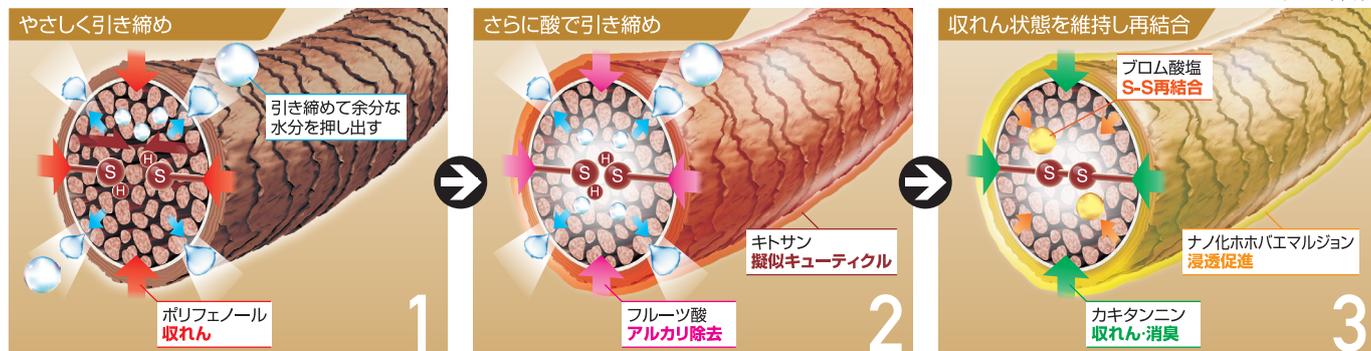
ソニルクリーブH

ワクワクneoポリK

ソニルBIIローション

neo収れんクリーブのメカニズム

※イメージ図です。



緑茶と木コブのポリフェノールのチカラでふくらんだ髪から水分を押し出し外側から引き締めてSHとSHを近づけます。

フルーツ酸でアルカリを中和して、膨潤した髪を等電点に戻します。さらに、キトサンで擬似キューティクルを形成し、カールを安定させます。

柿渋ポリフェノールで収れん状態を維持し、ナノ化ホホバエマルジョンでブロム酸塩の浸透を高め、やわらかい質感を作りながら再結合させます。

髪質に合わせて、前処理・中間処理・後処理を適切に行いましょう!

リトル・サイエンティストの “neo収れんクリーブ”

施術例

① 毛髪診断・シャンプー

髪のコンドーションに応じて薬剤選定しましょう。

トイトイトーイシャンプーで洗います。

② 前処理

3種混合原液1：ワクワク neo ミスト4の希釈液をダメージ部を中心に塗布します。

③ ワインディング

④ 1液塗布

ソニルクリーブSまたはHを、髪質やダメージレベルに合わせて使い分けます。

⑤ テストカール

⑥ 中間水洗

ぬるま湯でよくすすぎ、ロッドごとに丁寧にタオルで水けを取ります。

⑦ 中間処理

3種混合原液1：ワクワク neo ミスト4の希釈液をロッドの上から全体に塗布します。

⑧ クリーブ期

湿熱加温で15分ほど放置します。

⑨ クーリング

⑩ 中間処理

ここがポイント

ポリK 10倍をロッドの上から全体に塗布します。

その後、キトキト 10倍をロッドの上から全体に塗布します。

⑪ 2液塗布

ソニルB II ローションを全体にムラなく塗布します。

7分+7分の2度付け

⑫ 水洗

ロッドアウトして、しっかりと薬剤を洗い流します。

最後にトイトイトーイトリートメントをつけて仕上げます。

文字で読むより、
ムービーで



リトル・サイエンティストの“neo収れんクリーブ”

均等軟化と強化・補修

Point 1

- ◆ 均等軟化をさせるために、ナノ化 CMC と尿素でシステアミンの働きをサポートします。
- ◆ 髪を強化・補修するために、グアニジルシステインと高分子ケラチンで髪の強度をアップさせます。

(1) 薬剤の通り路を整える

ナノ化 CMC で薬剤の通り路を整え、尿素が毛髪の水素結合を緩めて髪をやさしく膨らませます。

これにより、システアミンが素早く髪の内部まで浸透しやすい状態にします。

(2) 髪をやさしく膨潤し、補修

高分子φ型ケラチンでダメージホールを補修し、

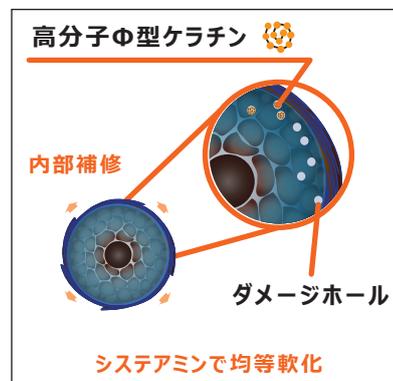
システアミンが髪の強度を落とさず、内部を均等に軟化します。

高分子φ型ケラチンは、独自技術により水鳥の羽毛から作られる高分子ケラチンタンパク質で、毛髪保護効果や髪質改善効果があります。

(3) SH を導入し、強化・補修

グアニジルシステインはプラスの電荷をもったシステインで、傷んだ髪のマイナス部分に結合して、システインを髪につけます。

導入されたシステインは 2 剤で酸化されて S-S 結合となり、髪をしっかりとしてくれます。



熟成クリーブ

Point 2

- ◆ コルテックスの“ずれ”をスムーズにするために、ナノ化 CMC がサポートしてくれます。
- ◆ クリーブ期にコルテックスを高分子ケラチンで補修してくれます。

(1) 移動変形がスムーズになる

CMC が熱で緩むため、コルテックスのすべりがよくなります。

このため、コルテックス全体がスムーズに移動・変形し、歪みが解消します。

(2) ぷるんとした弾力を与える

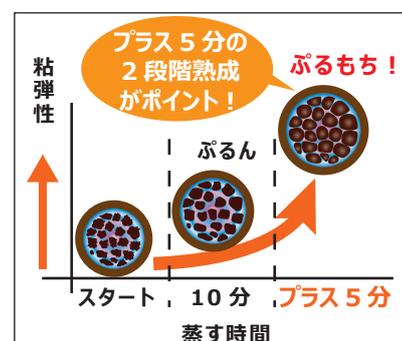
高分子ケラチンが弱ったコルテックスを補修して弾性（ぷるん感）を与えるため、コルテックスの移動がさらにスムーズになります。

(3) 2 段階熟成

低温で蒸した場合、コルテックスの移動に約 10 分。

さらにプラス 5 分の 2 段階熟成で、コルテックスの形が安定し、

粘弾性（ぷるもち感）のある仕上がりになります。



収れんと再結合

Point 3

- ◆ カシスポリフェノールの子カラで膨らんだ髪から水分を押し出し、外側から引きしめて SH と SH を近づけます。
- ◆ ナノ化ホホバエマルジョンがプロム酸の浸透を高め、黒糖蜜が髪に必要な水分をにがさないように保湿します。

(1) 膨らんだ髪をやさしく引きしめる

カシスポリフェノールの子カラで膨らんだ髪から水分を押し出し、外側から引きしめて SH と SH を近づけます。

また、収れん状態を維持し、ダメージにより親水化した髪を疎水へと戻します。

(2) さらに酸で引きしめる

アルカリで膨潤している髪を等電点に戻すために、クエン酸・リンゴ酸・乳酸でアルカリを中和します。

さらに、キトサンで擬似キューティクルを形成し、カールを安定させます。

(3) 元の太さに戻し、柔らかい質感のままキープ

柿渋ポリフェノールで収れん状態を維持し、ナノ化ホホバエマルジョンがプロム酸の浸透を高め、弾力あるカールを与えるとともに、柔らかい質感に仕上げます。